

はぐくみ

少年育成センターだより

令和6年9月1日

第30号

坂出市少年育成センター

坂出市久米町1-18-20

TEL46-2777

FAX46-7140



【少年育成センターの活動】
～青少年の健全育成と
非行防止を願って～

補導活動

地区補導員や学校補導教員、少年を守る母の会会員、センター職員などが、日々、市内巡回補導を行っています。

相談活動

子どもたちや保護者の悩みや困ったことについての相談活動を行っています。まずは、さわやかテレホン（裏面参照）をご利用ください。

広報啓発活動

万引き防止のための巡回を実施したり非行防止の啓発キャンペーンに参加したりして、非行の未然防止に取り組んでいます。

環境浄化活動

安全・安心な環境づくりのために、危険箇所の発見や不審者情報の収集・発信、白ポストによる有害図書の回収などを行っています。

関係機関などとの連携活動

学校、地域、家庭及び関係機関と積極的に情報交換し実態の把握に努めながら連携した活動を行っています。

青色防犯パトロール車による巡回パトロールを、各地域で実施しています。

令和5年度 坂出市の不審者情報です！

不審行動	件数	被害者	多発時間帯
無断撮影	6件	小学生 8人 中学生 4人	午前7時30分頃 午後3時～午後4時
声掛け	2件	小学生 2人	午後3時～午後5時
つきまとい	2件	小学生 3人	午後3時～午後5時

※昨年度と比べて不審者件数は半減しています。 ※無断撮影が相変わらず多い傾向です。

児童が下校中、3人組の男性とすれ違った際、その内の1名（30歳代、紫色のパーカー着用、髪は黒色で肌が茶色っぽい）から、「スマホを向けられて動画をとられた」という事案がありました。

瀬戸大橋パレードへの参加！

8月3日（土）、第59回さかいで大橋まつり「瀬戸大橋パレード」に、市民会議、少年育成センター補導員、坂出警察署、少年警察補導員、地域安全推進委員、保護司会、更生保護女性会、小・中・高等学校教職員、少年を守る母の会など計83名が参加しました。

毎年、7月と8月は、「夏の青少年非行・被害防止県民運動期間」であり、かけがえのない子どもたちが、心身ともに健やかに成長することは、私たちみんなの願いです。



ポップコーンを届けたよ！

坂出市少年を守る母の会では、親子交流活動への取り組みとして、保育所やこども園の行事で、毎年ポップコーンを届けています。7月13日（土）の川津こども園の夏まつりでは、母の会のメンバーが園児のみなさんに声を掛けながら、ポップコーンを渡すことができました。夕方には雨もあがり、園児それぞれが笑顔で踊りやゲームを楽しんでいる姿が見られました。

坂出市少年を守る母の会 副会長 横井鈴代



オーバードーズ「OD」ってなあに？



「ドーズ(dose)」とは「服用量」を意味し、全体で「過剰摂取」を意味する複合語で、薬局やドラッグストアで購入できる風邪薬や咳止めなどを大量・頻繁に服用することです。「一時的に、気分が落ち着いたり高揚したりすること」で、繰り返すうちに依存症になり、自力ではやめられなくなって、最悪の場合心肺停止で死亡に至る場合もあります。

全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査によると10代の薬物使用事案の中で「OD」の占める割合は、2014年は0%であったのが、2016年には25%、2022年には65.2%と急増しているとのことです。

「OD」に陥る背景には、さまざまな悩みを抱えている場合が多く、そのために「つらい気持ちを和らげたい」「死にたい気持ちから逃れたい」「ネット(SNS)上で、同じ境遇・悩みを共有できる居場所が欲しい」などがあるようです。

異変に気付いたならば、叱ったりせず、「よく話してくれたね」と、つらい気持ちに寄り添ってあげましょう。本人だけでの解決は難しい場合が多いので、迷わず専門機関「医療機関・香川県精神保健福祉センター・保健所」などに相談しましょう。

青少年の安全・安心や成長を願って ～町民会議の取り組みから～

加茂地区青少年健全育成町民会議 会長 大石 康夫

町民会議は、ともに生きる社会の構築のために、①青少年の社会参加活動の推進、②町民の交流の推進、③各種団体の連携を基本目標に、あいさつ運動、町民ウォーキング大会、加茂っ子ハッピーを各種団体と共催で実施しています。あいさつ運動は月2回、ウォーキング大会は桜ウォーク・史跡巡りウォーク、加茂っ子ハッピーは児童の遊びを実施し、毎年参加者が増えています。各種団体の積極的な協力で活動を展開し、特に昼食に手作り加茂豚汁、むすびを提供し好評を得ています。今後、関係団体が一同に活動を行い、思いやりのある加茂町をめざします。



西庄地区青少年健全育成町民会議 会長 中西 尚倫

西庄地区では子どもたちと地域の大人が気軽に声を掛け合える環境を作るため、毎月20日のあいさつ運動をはじめ、いろいろな行事を行っています。とはいえ町民会議役員だけでは力不足で連合自治会はじめ、地区内の各種団体や小学校の協力を仰ぎながら取り組んでいます。

5年後には小学校の統廃合が決まっており、今後の地区内の行事の取り組み方、地区内外の子どもと大人の接点の持ち方を考えていきたいと思います。



西部地区青少年健全育成町民会議 会長 好井 弘城

私たちは、地域の子どもの健全な成長と、安全・安心な学校を願い、毎月の夜間パトロールや広報車による啓発活動、登校時の立哨のほか、坂出小学校でのうどんづくり教室や校庭の芝生整備を行っています。校庭の芝生は、坂出小学校のシンボルとなっており、芝生の上を子どもたちが元気に走り回る姿は、地域ににぎわいと活力を与えています。



～ゲームがきっかけとなりトラブルに発展?～

ネット上では、文字や音声でやりとりしながら楽しめるゲームなども増えました。SNSやゲームを通じて知り合った人とプレイする際に気をつけたいことや、課金のし過ぎを防ぐ工夫は?

甘い誘いはワナの危険性が…

アカウントを乗っ取られる、ポイントやアイテムを奪われる、クラウドに保存した写真を盗み見られるなどのトラブルが起きています。たとえ親しい人でもID・パスワードを教えるはいけません。(他人のID・パスワードでのログインは、不正アクセス禁止法違反です。)

課金をする前に必要なこと

高額課金を心配する声も多くあります。課金する場合は、親子間であらかじめ限度額を決めておきましょう。使い過ぎを防ぐために、年齢に応じた課金の上限設定を活用するのも一案です。

ボイスチャットはさらに注意

ゲーム中の会話をきっかけにトラブルになることもあります。

個人が判る情報が伝わらないよう、話す内容、マイクで拾う言葉など、細かな注意が必要です。

(参考)総務省「インターネットトラブル事例集」2024年度版より



さわやか テレホン

友達関係・いじめ・不登校・心や身体の悩み・学習・家族関係・発達・ひきこもり・携帯やインターネットのトラブルなど…。

困ったときは、一人で悩まないで、坂出市少年育成センターに相談してください。秘密は厳守します。

☎(0877)
46-2777

平日 9:00～17:00 (無料)

※専門相談員が、いろいろな相談に応じています。保護者・児童・生徒、どなたでも相談OKです。(電話相談または来所相談のみ)

「青切符」で自転車の 交通取り締まりへ

自転車の交通違反に反則金を納付させる、いわゆる「青切符」による取締りの導入を盛り込んだ改正道路交通法が、2024年5月17日、可決・成立しました。2年以内に施行されます。

改正法は、自転車に関係する事故が増加傾向にある中、16歳以上を対象に適用され、113の違反行為が対象となります。このうち重大な事故につながるおそれのある違反を、重点的に取り締まるとしています。

危険な運転禁止!

- ▽信号無視
- ▽一時不停止
- ▽二人乗り
- ▽無灯火
- ▽スマホ・傘さし・イヤホンなどのながら運転
- ▽例外的に歩道通行できる場合でも徐行などしない運転
- ▽ブレーキが利かない自転車に乗ること
- ▽遮断機が下りている踏切への立ち入り
- ▽右側通行などの通行区分違反

